

標 題	2023 年度 6 回治験審査委員会公開用議事録
日 時：2023 年 9 月 5 日（火） 16：05～16：20 場 所：中棟 12F 会議室 出席者：岡田、萱野、田中、新谷、木島、辻、松倉、鈴木、開、高橋、山本 S M O：関原	
議事内容 議題① ニプロ株式会社の依頼による虚血性心疾患患者を対象とした NP024 の多施設共同外部 対照試験 ・ 治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 ＜審議結果：上記案件承認＞ 議題② メドアライアンス ジャパン株式会社の依頼による浅大腿動脈から膝窩動脈病変を対 象とした MDK-1901 の臨床試験 ・ 当該治験薬で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。 ＜審議結果：上記案件承認＞ 議題③ ノバルティスファーマ株式会社の依頼による IgA 腎症を対象とした LNP023 の第Ⅲ相試 験 ・ 当該治験における同意説明文書、被験者への支払いに関する資料の改訂について引き続き治験 を実施することの妥当性について審議した。 ＜審議結果：上記案件承認＞ 議題④ グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象 とした GSK2857916 の第 3 相試験 ・ 当該治験薬で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。 ・ 当該治験における治験薬概要書の改訂について引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。 ＜審議結果：上記案件承認＞ 議題⑤ 日本新薬株式会社の依頼による NS-304 の後期第Ⅱ相試験 ・ 当該治験薬で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。 ＜審議結果：上記案件承認＞ 議題⑥ ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による日本人急性骨髄性白血病患者 を対象とした完全寛解達成後の維持療法としての経口用アザシチジンと最良支持療法との併 用療法の有効性及び安全性を最良支持療法と比較する第 2 相ランダム化二重盲検プラセボ対照 試験 ・ 当該治験薬で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。	

- ・当該治験における治験薬概要書の改訂について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

＜審議結果：上記案件承認＞

議題⑦ グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による有効な治療法がない又は他の治療法が適さない再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象としたベランタマブ マホドチンの拡大治験

- ・当該治験における治験薬概要書の改訂について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

＜審議結果：上記案件承認＞

議題⑧ アキュリスファーマ株式会社の依頼による閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者を対象とした治験薬の有効性及び安全性を評価する無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第III相試験

- ・当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・当該治験における治験実施計画書、同意説明文書、治験薬概要書の改訂について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

＜審議結果：上記案件承認＞

議題⑨ バイエル薬品株式会社の依頼による脳卒中リスクのある 18 歳以上の心房細動の患者を対象に、脳卒中又は全身性塞栓症の発症抑制に関する、経口 FXIa 阻害薬 asundexian (BAY2433334) の有効性及び安全性をアピキサバンと比較する多施設共同、無作為化、実薬対照、二重盲検、ダブルダミー、二群間並行群間比較、第Ⅲ相国際共同試験

- ・当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・当該治験における同意書補助資料の追加について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・当該施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

＜審議結果：上記案件承認＞

【その他報告事項】

議題⑩ 2023 年度第 5 回 IRB の議事録内容を確認し、了承した。

以上